

事業効果検証シート

【資料3】

基本目標1		錦江町に適した農業を中心に、しごとを増やす														
主管課	総務課	事業の名称	地域に根ざす雇用産業支援事業	事業年度	平成27年度(継続中)											
事業費	2,672 千円	KPI	新規就業者による移住者数 2名	検証日	H28.9.1											
①	趣旨 (P)	<p>本町では農業法人等の労働力不足を支援するため、厚生労働省の雇用支援事業等に取り組んできたが、失業者が対象であるため応募・就業後の定着率が低調であった。 今回、新卒者を対象に加え、インターン経費等も支援することで、労働力確保・定住者の増加を目指す。</p>														
②	事業内容 (P)	<p>事業者支援を目的とし、事業対象経費は雇用事業が直接人件費、研修事業が研修経費、インターン事業は滞在経費等。 歳出携帯は補助金で、1人に対し1年間とする。 新規雇用者の雇用対象はU・I・Jターン者とし、必ず年度内に錦江町へ住民票を移すこととする。 (事業年度の4月1日以降に転入した者が対象) ハローワークへの求人は任意とし、縁故採用は不可。研修の実施は必須とする。</p>														
③	指標	新規就業者による移住者数														
④	目標値 実績値 達成率	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">目標値</td> <td style="width: 33%;">実績値</td> <td style="width: 33%;">達成率</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2名</td> <td style="text-align: center;">1名</td> <td style="text-align: center;">50%</td> </tr> </table>	目標値	実績値	達成率	2名	1名	50%	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">達成率10割超</td> <td style="width: 50%;">→ 内部評価①</td> </tr> <tr> <td>達成率10割未満</td> <td>→ 内部評価②～④</td> </tr> </table>	達成率10割超	→ 内部評価①	達成率10割未満	→ 内部評価②～④			
目標値	実績値	達成率														
2名	1名	50%														
達成率10割超	→ 内部評価①															
達成率10割未満	→ 内部評価②～④															
⑤	実施 (D)	<p>1. 事業説明会の実施(平成27年5月22日開催、6事業所が出席) 2. 事業申請事業所 4事業所 3. 1事業所で1名の雇用(インターンシップ)があった 【雇用期間】平成27年8月1日～平成28年3月31日</p>														
⑥	内部評価 (C)	<p>① 地方創生に非常に効果的であった(実績値が目標値を上回ったなど) ② 地方創生に相当程度効果があった(目標値の7～8割を達成したなど) ③ 地方創生に効果があった(目標値を上回らなかったが、事業実施前より改善した) ④ 地方創生に対して効果がなかった(事業実施前より悪化した)</p>														
⑦	評価 ポイント (C)	<p>・目標値は上回れなかったものの、実績として1名の雇用(インターンシップ)があった ・平成28年度は、8月末時点で1事業所で2名の雇用と、もう1事業所が事業の申請を行なっている</p>														
⑧	今後の 方針 (A)	<p>事業所の、事業の積極的な活用(雇用意欲の向上)が見られるので、今後もアクションプランに基づき事業を継続したい</p>														
⑨	備考															

事業効果検証シート

基本目標1	錦江町に適した農業を中心に、しごとを増やす																		
主管課	政策推進企画	事業の名称	雇用・創業応援事業	事業年度	平成27年度														
事業費	2,175 千円	KPI	新規雇用者2名、新規創業者1名	検証日	H28.9.1														
①	趣旨 (P)	<p>個人事業主が各自で雇用確保や販路を探している非効率な状態であるため、特産品協会が販路拡大、創業者支援、雇用確保を主体的に担うことにより、窓口のワンストップ化を図り、地域経済の活性化と雇用の創出を図ることができる。</p>																	
②	事業内容 (P)	<p>雇用促進に関する経費 ・鹿児島市内の大学を対象にした企業説明会の開催 販路拡大に関する経費 ・商談会・試食販売会等の開催 ・情報発信、PR活動</p>																	
③	指標	新規雇用者数、新規創業者数																	
④	目標値 実績値 達成率	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">目標値</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">実績値</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">達成率</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">雇用2名・創業1名</td> <td style="text-align: center;">雇用0名・創業0名</td> <td style="text-align: center;">0%</td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">→</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">内部評価①</td> </tr> <tr> <td style="width: 60%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">→</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">内部評価②～④</td> </tr> </table>				目標値	実績値	達成率		雇用2名・創業1名	雇用0名・創業0名	0%			→	内部評価①		→	内部評価②～④
目標値	実績値	達成率																	
雇用2名・創業1名	雇用0名・創業0名	0%																	
	→	内部評価①																	
	→	内部評価②～④																	
⑤	実施 (D)	<p>・企業説明会用パンフレット「錦江町働き方図鑑」を作成 ・鹿児島大学、鹿児島国際大学において、町内企業説明会を実施 →鹿児島国際大学 平成27年12月2日実施 参加学生数2名 →鹿児島大学 平成27年12月8日 参加学生数6名 ・オプシヤミスミ(鹿児島市内)において、2/6～2/21の間、特産品・農産物等の販売ブースを設置 →【販売額】2,283,573円、【購入者数】2,600人 ・ふるさと回帰支援センターに「錦江町働き方図鑑」を設置</p>																	
⑥	内部評価 (C)	<p>① 地方創生に非常に効果的であった(実績値が目標値を上回ったなど) ② 地方創生に相当程度効果があった(目標値の7～8割を達成したなど) ③ 地方創生に効果があった(目標値を上回らなかったが、事業実施前より改善した) ④ 地方創生に対して効果がなかった(事業実施前より悪化した)</p>																	
⑦	評価 ポイント (C)	雇用促進、販路拡大ともに、今後の展開への足がかりをつかむことができた																	
⑧	今後の 方針 (A)	事業を継続し、今回知り得た、大学生の就職活動の実情や錦江町の認知度、新たな販路による特産品・農産物の搬送・販売手段を次の展開に活かす																	
⑨	備考																		

事業効果検証シート

基本目標2		Uターンを中心にして人口減の歯止めをかける												
主管課	政策推進	事業の名称	移住定住促進事業	事業年度	平成27年度(継続中)									
事業費	20,027 千円	KPI	移住について具体的な相談に入っている者2名	検証日	H28.9.1									
①	趣旨 (P)	移住定住促進のため、専用の窓口の設置、移住関連情報の発信、相談支援の一元化を図る(相談支援窓口のワンストップサービス化)。さらに、定住後のフォローアップを効果的に実施する。												
②	事業内容 (P)	<p>協議会設立に関する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設立準備会等の検討・設計 ・専任職員の募集・マッチング <p>移住定住に係る情報発信に関する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット、データブックの企画・作成 ・ホームページ、動画の作製 												
③	指標	具外的な移住相談者												
④	目標値 実績値 達成率	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">目標値</td> <td style="text-align: center;">実績値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2名</td> <td style="text-align: center;">1名</td> </tr> </table>	目標値	実績値	2名	1名	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">達成率</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">50%</td> </tr> </table>	達成率	50%	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">達成率10割超</td> <td style="text-align: center;">→ 内部評価①</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">達成率10割未満</td> <td style="text-align: center;">→ 内部評価②～④</td> </tr> </table>	達成率10割超	→ 内部評価①	達成率10割未満	→ 内部評価②～④
目標値	実績値													
2名	1名													
達成率														
50%														
達成率10割超	→ 内部評価①													
達成率10割未満	→ 内部評価②～④													
⑤	実施 (D)	<p>1. 移住定住協議会(仮称)の設立準備委員会を設置、協議会事務局長を公募した。</p> <p>(1)【募集内容】事務局長1名、移住定住コンシェルジュ2名、平成28年1月28日～2月28日</p> <p>(2)【応募者数】事務局長13名(採用者なし)、移住定住コンシェルジュ1名(採用者なし)</p> <p>(3)【募集媒体】※媒体を通じた応募者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【インターネット】町ホームページ、リクナビNEXT※(12)、日本仕事百貨※(0)、JOIN、ETIC.DRIVE※(0) ・【チラシ等】県地域政策課特定計画係(2/13東京・移住セミナー)、ふるさと回帰支援センター、県内大学就職キャリアセンター、町広報誌2月号 <p>(4)【募集内容】地方創生担当統括監1名、平成28年3月10日～3月25日</p> <p>(5)【応募者数】7名</p> <p>(6)【募集媒体】※媒体を通じた応募者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【インターネット】町ホームページ、リクナビNEXT※(7) ・【チラシ等】町広報誌3月号、県政記者室への情報提供 <p>(7)【最終選考】書類選考により3名を選考、うち1名辞退。4月2日に最終選考試験実施</p> <p>2. 町ホームページをリニューアルした。</p> <p>(1)【内容】平成27年10月1日着手、平成28年3月30日完成、平成28年4月1日稼働開始</p> <p>【状況】月平均情報発信数 旧HP5件、新HP10件 月平均アクセス数 旧HP1,550件、新HP6,200件</p> <p>3. 移住プロモーション動画を制作した。</p> <p>【内容】平成27年10月1日着手、平成28年3月25日完成、同日全国移住ナビに掲載</p> <p>【状況】動画再生回数1,916回(H28.8.31)</p>												
⑥	内部評価 (C)	<p>① 地方創生に非常に効果的であった(実績値が目標値を上回ったなど)</p> <p>② 地方創生に相当程度効果があった(目標値の7～8割を達成したなど)</p> <p>③ 地方創生に効果があった(目標値を上回らなかったが、事業実施前より改善した)</p> <p>④ 地方創生に対して効果がなかった(事業実施前より悪化した)</p>												
⑦	評価 ポイント (C)	地方創生担当統括監兼移住定住協議会事務局長を採用した。 町ホームページをリニューアルし、4月から運用を開始。情報発信数の増加、アクセス数の増加が見られる。 移住プロモーション動画を制作し、全国移住ナビに掲載。順調に再生回数が増えている。												
⑧	今後の 方針 (A)	移住定住協議会(仮称)設立準備本部を設置し、平成29年度4月開設を目指して準備中であり、事業を継続させたい。 ホームページについては、情報掲載数を増やし、SNS(フェイスブック、ツイッター)と連動させることで情報提供者数の向上(アクセス数の増)を図りたい。												
⑨	備考													

事業効果検証シート

基本目標2		Uターンを中心にして人口減の歯止めをかける											
主管課	企画	事業の名称	空き家バンク開設事業	事業年度	平成27年度(継続中)								
事業費	7,992 千円	KPI	空き家解消戸数2件	検証日	H28.9.1								
①	趣旨 (P)	空き家バンクを整備することにより、町内全域の空き家情報を一元化し、管理することができるため、移住者へ効率的に住居を紹介する。											
②	事業内容 (P)	調査に関する経費 ・空き家調査に係る経費 ・自治会長による調査経費 データ作成に関する経費 ・空き家バンクの開設・運用経費											
③	指標	空き家解消戸数											
④	目標値 実績値 達成率	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">目標値</td> <td style="text-align: center;">実績値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2件</td> <td style="text-align: center;">0件</td> </tr> </table>	目標値	実績値	2件	0件	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">達成率</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0%</td> </tr> </table>	達成率	0%	達成率10割超 → 達成率10割未満 →	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">内部評価①</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">内部評価②～④</td> </tr> </table>	内部評価①	内部評価②～④
目標値	実績値												
2件	0件												
達成率													
0%													
内部評価①													
内部評価②～④													
⑤	実施 (D)	空き家調査を行い、空き家所有者に対し空き家バンクへの登録の意思をアンケート調査した。 空き家の情報をデータベース化した。 【調査内容】 ・平成27年9月1日着手、平成28年3月25日完了 ・調査結果：居住可能347軒、補修後可能258軒、特定空き家・廃屋297軒、合計902件 【空き家所有者に対する意向調査の実施】 ・平成28年2月8日着手・発送、平成28年3月4日返送期限 ・空き家バンク登録者(賃貸2件、売却5件、利用者登録3名)											
⑥	内部評価 (C)	① 地方創生に非常に効果的であった(実績値が目標値を上回ったなど) ② 地方創生に相当程度効果があった(目標値の7～8割を達成したなど) ③ 地方創生に効果があった(目標値を上回らなかったが、事業実施前より改善した) ④ 地方創生に対して効果がなかった(事業実施前より悪化した)											
⑦	評価 ポイント (C)	平成28年6月15日から町ホームページ上で、空き家バンクの運用を開始した。運用開始後、バンクに登録した空き家が1件解消した。(賃貸物件、平成28年6月)											
⑧	今後の 方針 (A)	平成28年10月からの空き家リフォーム助成事業の実施により、登録者数の増加を見込んでいる。今後も空き家バンクの運営を継続して行う。											
⑨	備考												

事業効果検証シート

基本目標4		個性豊かな地域を50年後も維持する												
主管課	政策推進	事業の名称	デマンド交通導入計画策定事業	事業年度	平成27年度(継続中)									
事業費	6,850 千円	KPI	H27年度に地域公共交通網形成計画を策定 H28年度以降にデマンド交通月間利用者100人	検証日	H28.9.1									
①	趣旨 (P)	高齢者による交通事故が多発し、運転免許返納など早急に対策を講じなければならないこと、及び人口減少による公共交通機関の便数減少などの現状に鑑み、デマンドタクシー等の新たな交通手段の導入計画を策定し、運行することにより集落間のネットワークと生活基盤の確保を目指す。												
②	事業内容 (P)	専門的調査(導入調査)の実施に関する経費 ・住民アンケート調査 ・バス路線利用者の調査 ・交通手段等の調査 意見集約及び計画策定に関する経費 ・検討委員会等の設立支援 ・導入計画策定 ※平成28年度以降デマンド交通を導入し、運用開始予定												
③	指標	地域公共交通網形成計画の策定、デマンド交通月間利用者100人												
④	目標値 実績値 進捗率	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">目標値</td> <td style="text-align: center;">実績値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計画策定</td> <td style="text-align: center;">未達成</td> </tr> </table>	目標値	実績値	計画策定	未達成	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">進捗率</td> <td style="text-align: center;">50%</td> </tr> </table>	進捗率	50%	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">達成率10割超</td> <td style="text-align: center;">→ 内部評価①</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">達成率10割未満</td> <td style="text-align: center;">→ 内部評価②～④</td> </tr> </table>	達成率10割超	→ 内部評価①	達成率10割未満	→ 内部評価②～④
目標値	実績値													
計画策定	未達成													
進捗率	50%													
達成率10割超	→ 内部評価①													
達成率10割未満	→ 内部評価②～④													
⑤	実施 (D)	1. 基礎調査(アンケート調査等)を実施した。 【調査内容】 ・70歳以上の住民全員を対象とした訪問聞き取り調査 平成27年11月16日～30日 → 乗り物の利用状況、通院・買い物の状況、新たな運行方法への意向を調査 ・コミュニティバス乗降調査 平成27年12月7日～13日 → 路線ごとのバスの利用状況を調査 2. 地域公共交通会議を設置し、会議を2回開催。調査結果を基に、計画の基本方針を掲げた。 (1) 錦江町地域公共交通会議設置要綱の制定 平成28年2月1日 (2) 委員15名(町長、交通事業者5、運輸支局1(+オブザーバー1)、県3、警察1、長寿会2、民生員・児童員連絡協議会2) (3) 交通会議の開催 【第1回】平成28年2月3日: 錦江町の公共交通の現状と課題について等 【第2回】平成28年3月23日: 見直しの基本方針について等												
⑥	内部評価 (C)	① 地方創生に非常に効果的であった(実績値が目標値を上回ったなど) ② 地方創生に相当程度効果があった(目標値の7～8割を達成したなど) ③ 地方創生に効果があった(目標値を上回らなかったが、事業実施前より改善した) ④ 地方創生に対して効果がなかった(事業実施前より悪化した)												
⑦	評価 ポイント (C)	・平成27年度中の計画策定に至らなかった ・錦江町地域公共交通会議の設置(県内で27市町村目、24協議会目) ・網形成計画策定に必要な基礎調査結果、基本方針を作成												
⑧	今後の 方針 (A)	交通弱者対策や地域公共交通の空白地帯の解消を目指すため、地域公共交通網形成計画策定に向けて事業を継続したい。												
⑨	備考													